

平成27年度 五泉市生活科部 活動報告

部長 根本 拓也

1 活動主題

- ・ 子どもの思いや願いを生かすための教材研究を推進する。
- ・ 授業研究を通して、指導力の向上を図る。

2 研究の概要

- | | | |
|----------|-----------------------|-----|
| (1) 教材研究 | 「さつまいもを使った簡単な料理」 | 6月 |
| (2) 実技研修 | 「ネイチャーゲーム（ネイチャークラフト）」 | 9月 |
| (3) 授業研究 | 単元名「あきのあそび」 | 10月 |

3 研究の実際

(1) 教材研究

昨年度に引き続き、瀬倉みゆき先生（五泉市達人バンク）を講師に迎え、低学年の子どもでも作れる「さつまいもの茶巾絞り」を教えていただいた。さつまいもの茶巾絞りは生活科の活動の中で作ったことがあるという部員が多くいたが、作った茶巾絞りにレーズンで顔を付けるというひと工夫が、子ども達の意欲につながると感じた。教師が教えるだけでなく、子どもが考え楽しめる料理のアイデアを教えていただいた。



(2) 実技研修

講師に荻野伸也先生（五泉市理科センター）を迎え、ネイチャーゲームでは、3つのキーワードを挙げ、指導していただいた。ネイチャークラフトでは、木の枝、枯れ葉、松ぼっくり、石などを使った工作の指導法を教えていただいた。



(3) 授業研究

坂井那緒子教諭（愛宕小学校）による、公開授業研究を行った。授業者は、秋の自然に親しみながら楽しい遊びを工夫したり、遊ぶものを作ったりすることにより、季節の変化を体全体で感じることができるのではないかと考え、普段は目にとめない自然のものが、遊び道具に変身することを体験し、楽しんで遊ぶ子どもの姿を目指した。「資料提示の工夫」と「伝え合いを促すための工夫」の2つの手立てを柱とした実践であった。紹介するとき



の話型を示したり、目的意識と相手意識をもたせたりすることで、子どもたちは友だちとかかわりながら、自分の考えたことを友だちに伝えることができた。

4 成果と課題

「子どもの思いや願いを生かすための教材研究を推進する」ために、講師の先生から子どもの活動に直結した教材を紹介していただき実技研修ができたことで、大変実りのある研修となった。また、授業研究では、季節の変化を視覚のみならず、嗅覚や触覚など、体全体で感じとるための効果的な手立てを提案していただいた。また、春からの年間を見通した教材研究が大変効果的であった。

今後とも、教材開発と指導法の改善の両面から研修を進め、指導力の更なる向上を図っていく。